

洛西ニュータウン創生推進委員会が発足！

～洛西ニュータウンまちづくりビジョンの実現に向けた取組がスタート～

昨年11月、洛西ニュータウンの今後の望ましいまちづくりのあり方と、その実現のための方策、重点的に取り組む内容などをまとめた「洛西ニュータウンまちづくりビジョン ～ もっと もっと 魅力あるまちを目指して～」が策定されました。

このまちづくりビジョンに示された「緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち」の実現に向けて、住民が主体となって洛西ニュータウンのこれからのまちづくりを推進する組織がこの度発足しました。

6月29日に開催された第1回の会議では、新林学区自治連合会の勝本竹彦会長を委員長に選出するとともに、会の名称を「洛西ニュータウン創生推進委員会」と決定しました。

委員会では、まちづくりビジョンに掲げる4つの「戦略」を踏まえて、取り組むテーマの選定と、担い手、手法、スケジュール等について具体的に検討を行い、可能なものから実行に移すとともに、まちづくりの先進事例の調査や学習会・報告会の実施など様々な活動に取り組んでいく予定です。



洛西ニュータウン創生推進委員会

○委員

※勝本 竹彦	新林学区自治連合会
山田 隆義	境谷学区自治連合会
井上 愛子	福西学区自治連合会
杉浦 秀好	竹の里地域自治連合会
藤本 廣志	洛西ケーブルビジョン株式会社
平井 義昌	ラクセーヌ商店会
浅野 保夫	財団法人洛西ニュータウン管理公社
水口 重忠	京都市西京区役所洛西支所長

※ 委員長

○アドバイザー

安枝 英俊 京都大学大学院工学研究科助教

◆第1回委員会で出された主な意見

- ・委員会の役割は、ビジョンに掲げる4つの戦略について、具体的な取組を推進し、住民にその進捗状況がわかるように示していくことである。そのためのアクションプランづくりと、適切な進捗管理のもとで、できることから取り組むというスタンスを進めたい。
- ・まちづくりは、住民でできること、行政が行うこと、住民と行政と協働して行うことの3つで進める必要があるが、行政とのパートナーシップが大切であり、行政の十分なバックアップを期待する。
- ・委員会は、ニュータウン全体をどうするかについて具体的観点での自由な意見交換の場にしたい。
- ・各学区、地域でできること、ニュータウン全体でなければできないことと、課題を分けて取り組んだ方がよい。テーマによっては、ニュータウン周辺地域もあわせて考える必要がある。
- ・委員会の取組と連携して、サブセンターの活性化を進める必要がある。
- ・委員会は、テーマに応じたグループにわけて活動を進める必要がある。また、まちづくりを進めるリーダーの育成が大切である。
- ・洛西ニュータウンは基本的には相当な社会資本が投下されている。これらの社会資本とまちの変化とが対応しきれていないミスマッチ部分を解消することが必要である。